

第2章 伊達市の現状

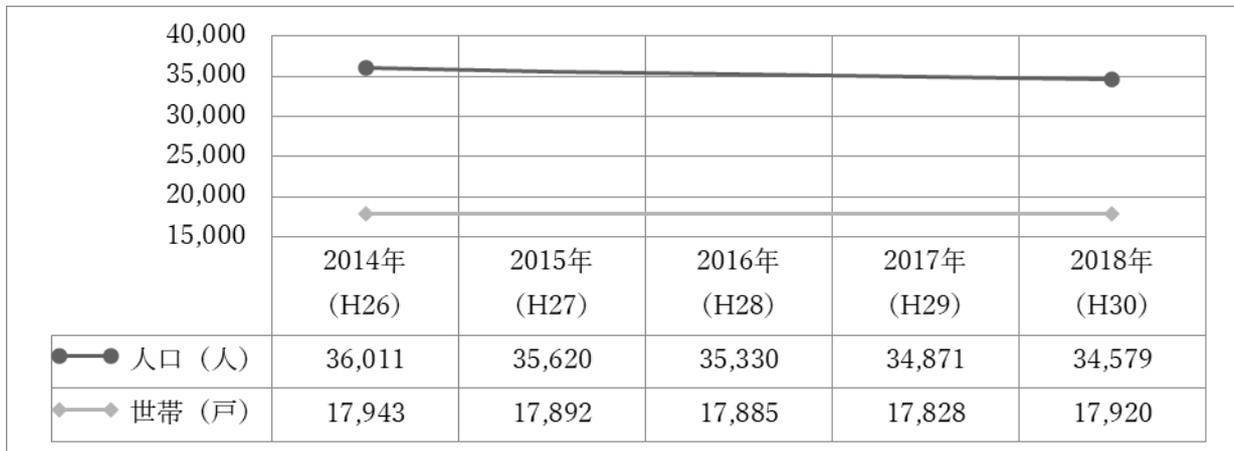
第1 人口・世帯

1 人口・世帯

伊達市の人口は、2000年（平成12年）までは増加傾向にありましたが、それ以降は減少傾向にあり、2018年（平成30年）3月31日現在で34,579人となっています。長期の人口減少過程に入った状況で依然として少子・高齢化が進んでおり、今後も、減少すると予想されます。

世帯数についても、2018年（平成30年）を除き、微減傾向が続いており、今後についても、同様の傾向が続くと思われまます。

人口・世帯の推移（各年3月31日現在）

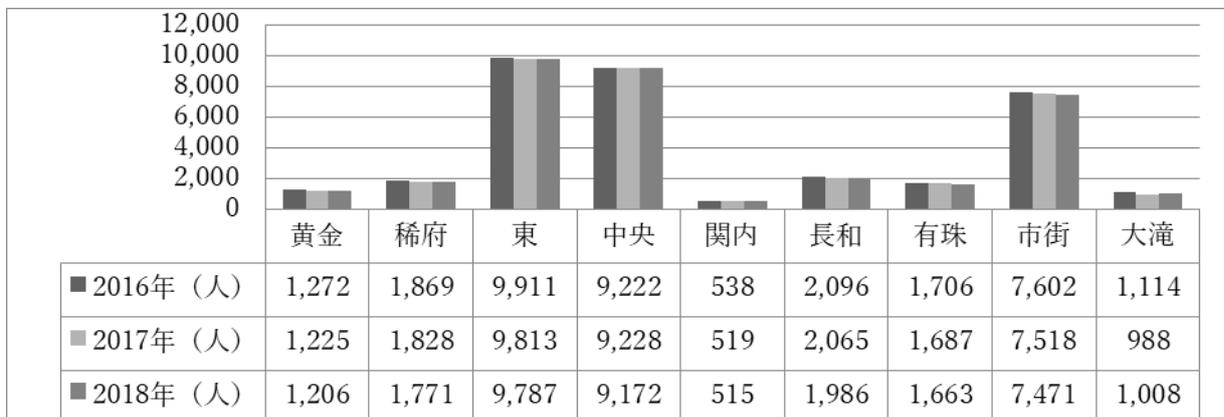


〈資料〉住民基本台帳

2 地区別人口

地区別の人口推移は、大滝地区を除き、全地区で微減傾向を示しております。

地区別人口の推移（各年3月31日現在）

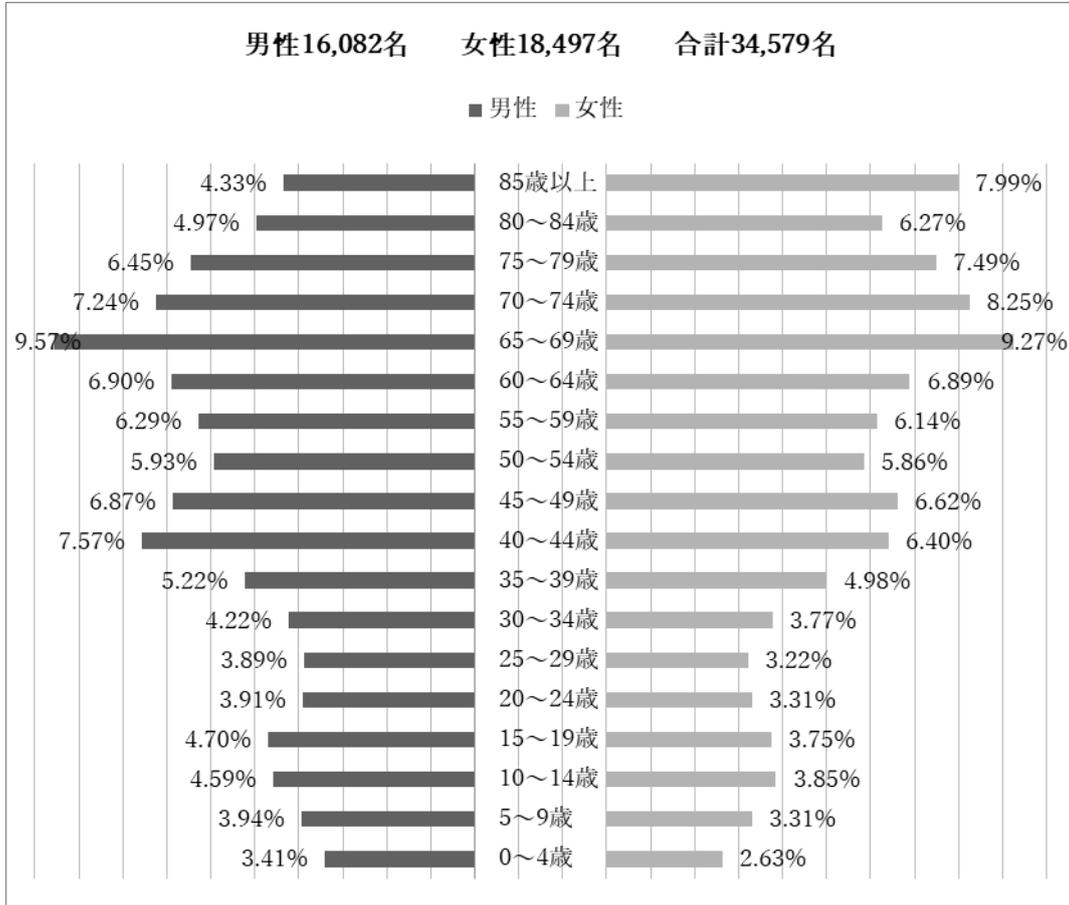


〈資料〉住民基本台帳

3 年齢別人口

年齢別の人口は、男女とも65～69歳が最も多く、男性が1,539人で9.57%、女性が1,714人で9.27%となっています。

5歳階層別・男女別の人口構成割合（2018年3月31日現在）

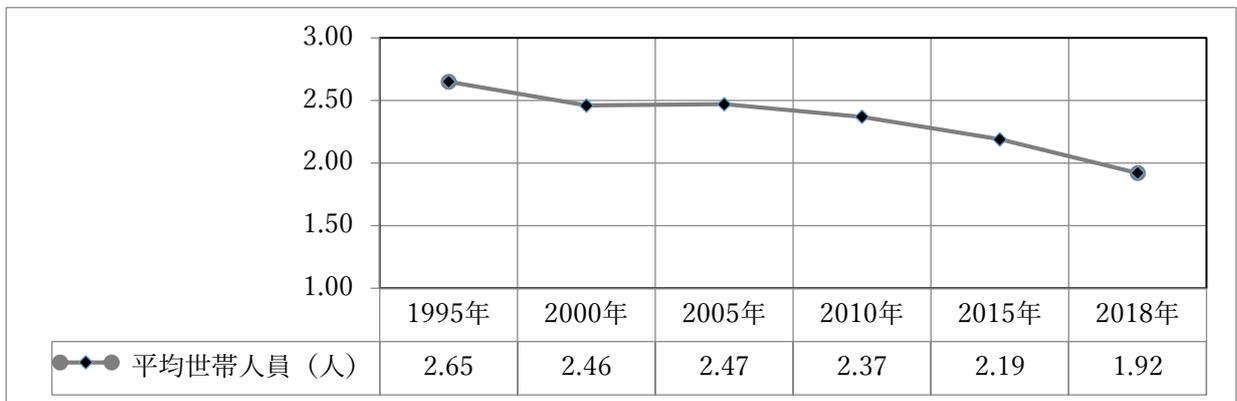


〈資料〉住民基本台帳

4 世帯構造

核家族化や少子化が依然すすんでおり、1世帯当たり平均世帯人員は年々減少傾向にあります。

1世帯当たり平均世帯人員の推移



〈資料〉国勢調査（2018年は住民基本台帳）

第2 社会福祉施設

本市の主な社会福祉施設等の状況は、次のとおりです。

主な社会福祉施設等一覧

1 高齢者関係施設			
事業名	施設名	箇所数計33	
養護老人ホーム	潮香園	1	
特別養護老人ホーム	喜楽園、ひまわり、サテライトひまわり、なごみの里、おおたきの杜	5	
有料老人ホーム（特定施設）	チエロだて、さらさ伊達	2	
ケアハウス	伊達ぶらいむ館、クアリゾート 453、セイントヒルズ（介護付き）	3	
デイサービスセンター	喜楽園、ひまわり、アウル、北湯沢、つくし、セイントヒルズ、ともあれ、きたえるーむ レッツ倶楽部、心温	10	
在宅介護支援センター	ひまわり、北湯沢	2	
老人保健施設	プライムヘルシータウン湘南、北湯沢温泉いやしの郷	2	
介護医療院	北湯沢温泉いやしの郷	1	
デイケアセンター	プライムヘルシータウン湘南、ソエル	2	
グループホーム	アウル、こもれび、ねねむ、桜香、SORA	5	
2 障がい者関係施設			
事業名	施設名	箇所数計35	
障がい者支援施設	優徳荘、大滝学園、伊達リハビリセンター、大滝わらしべ園、太陽の園	5	
障がい者福祉サービス事業所 （訪問、相談支援サービスを除く）	生活介護	優徳荘、伊達リハビリセンター、大滝わらしべ園、大滝学園、太陽の園、ワークセンターえるむ、ふみだす、第2ふみだす、喜楽園、ひまわり	10
	短期入所	優徳荘、大滝学園、伊達リハビリセンター、大滝わらしべ園、太陽の園、サポートじゃんぷ	6
	共同生活援助	だて地域生活支援センターらいむ・ぴいす、ゆうゆう、サポートじゃんぷ	3
	宿泊型自立訓練	i・box（アイボックス）、旭寮	2

	自立訓練 (生活訓練)	i・box (アイボックス)	1
	就労移行 支援	i・box (アイボックス)	1
	就労継続 支援 A 型	伊達の風	1
	就労継続 支援 B 型	ワークセンターえるむ、ふみだす、伊達の風 第2ふみだす、i・box (アイボックス) 言泉学園湘南しいたけ	6
3 障がい児関係施設			
事業名		施設名	箇所数計 8
障がい児入所施設		太陽の園	1
障がい児通所 支援事業所	放課後等デ イサービス	あいあいROOM、まあぶる、まあぶるキッズ	3
	児童発達 支援	あいあいROOM、まあぶる、まあぶるキッズ	3
情緒障がい児短期治療施設		バウムハウス	1
4 児童福祉施設			
事業名		施設名	箇所数計 27
保育所		ふたば保育所、ひまわり保育所、つつじ保育所、 くるみ保育所、伊達保育所、うす保育所、 大滝保育所、虹の橋保育園	8
児童厚生施設		旭町児童館、なないろ児童館 山下町児童館	3
子育て支援センター		えがお、おひさま、くろーばー	3
放課後児童クラブ		うめのこ、さくら、あやめ、第1やまびこ、 第2やまびこ、第3やまびこ、ほしのこ、 かぜのこ、きたのこ、ながわ、まれふ、うす、 おおたき	13
5 その他の施設			
事業名		施設名	箇所数計 6
生活館		有珠生活館	1
相談支援事業所		伊達市障がい者総合相談支援センター「あい」、 胆振圏域障がい者総合相談支援センター「るびなす」、 どんぐりころころ 障害者相談支援事業所つくし 伊達市地域包括支援センター	5

〈資料〉伊達市健康福祉部

第3 民生委員児童委員

伊達市民生委員児童委員協議会（以下「伊達市民児協」という。）は、市内の民生委員児童委員78名と主任児童委員10名（各地区2名）の計88名で構成されています。

また、伊達市民児協は5つの地区に組織され、4つの部会を組織し活動しています。民生委員児童委員の相談・支援件数及び活動件数は下図のとおりで、相談・支援は日常的な支援に関することが多く、活動においては地域福祉活動・自主活動、民児協の運営等が多い状況となっています。

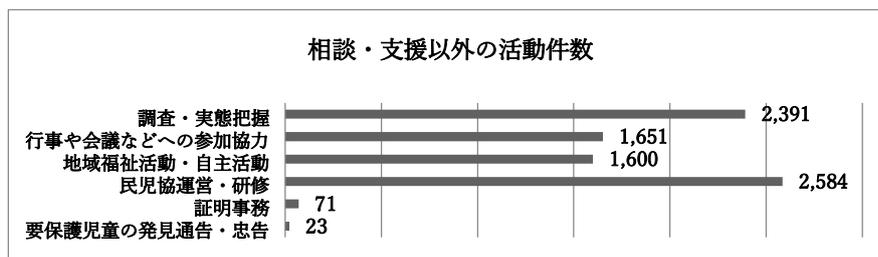
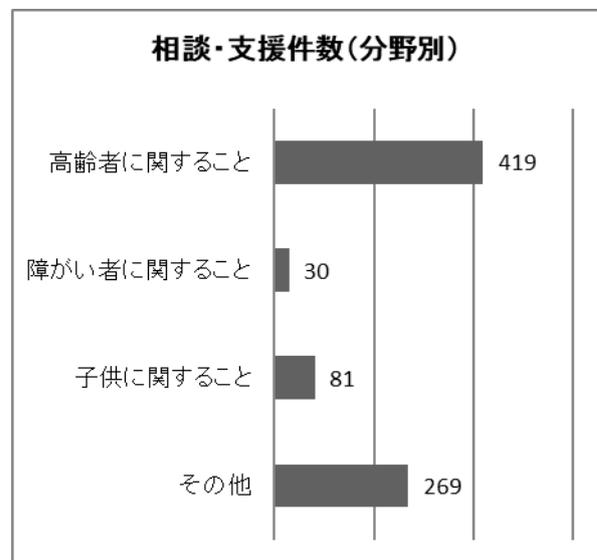
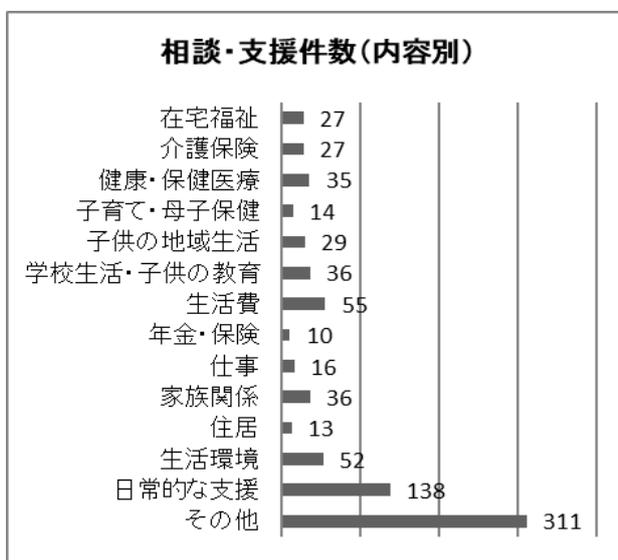
民生委員児童委員数（2017年度）

地 区	委 員 数
東地区民児協	20名
南地区民児協	20名
北地区民児協	18名
西地区民児協	21名
大滝地区民児協	9名
合 計	88名

部 会

高 齢 者 部 会
しんしょう者部会
児 童 部 会
広 報 委 員 会

2017年度民生委員児童委員の相談等活動状況



〈資料〉伊達市健康福祉部

第4 社会福祉協議会

社会福祉協議会（略称：社協）は、地域住民やボランティア、福祉、医療、教育などの関係者や行政機関の参加・協力のもと、地域の方々が住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざした様々な活動を行い、地域福祉の推進に取り組んでいます。社協は民間団体ですが、社会福祉法に位置付けられています。（市町村社協、政令指定都市の区社協、都道府県社協及び全国社協）

また、伊達市では地区社会福祉協議会（略称：地区社協）が連合自治会を単位として、市内12地区全てに設置されています。地区社協は、地域内の自治会などの地縁組織を中心とした各分野の団体や住民の皆さんにより構成されており、身近な住民福祉活動の基盤として、地域の生活課題や困りごとに対応し、住民の支え合いによる住みよい地域づくりを進めています。

伊達市社会福祉協議会の主な活動

1 みんなで支える地域づくり

地区社協やその構成員である※福祉委員が活動しやすい土壌づくりや事業実施のきっかけづくりなどを行うことにより、地区社協活動の推進に取り組んでいます。

また、市民自らの力によるコミュニティづくりへの支援や年齢、性別、障がいの有無などにかかわらず、すべての人が積極的に社会参加できる機会の提供を図っています。

2 地域福祉の担い手づくり

地域住民の全てが地域福祉活動の担い手という意識を浸透させていくとともに、ボランティア活動や市民活動を担う人材の発掘、育成に努めています。

また、※ボランティアに関する情報の収集と発信、各関係団体等との連携を強化し、ボランティアセンターの機能の充実を図り、やりがいのある活動の場の提供を進めています。

さらに、大規模災害が発生した場合は「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、ニーズ調査、ボランティアの受け入れ、調整を行い被災者支援に取り組めます。

3 その人らしい生活を支えるための福祉サービスの提供

多様化・複雑化した課題に対応するために、伊達市をはじめとした関係機関、地域の組織などとの連携による総合的な支援の体制づくりを進めていきます。

また、生活福祉資金等貸付事業、日常生活自立支援事業、地域包括支援センター、ボランティアセンターなど社協が進める各種事業とその他の福祉制度などを繋ぎ、包括的な福祉サービスの充実を図っています。

4 地域に信頼される運営のための組織づくり

社協だよりやホームページなどを通して、地域への情報を定期的に発信し、社協活動と地域福祉への理解と協力の意識啓発に取り組んでいます。

また、地域住民や各種団体の運営支援、地域福祉の充実発展に功績のあった個人や団体への表彰などを通して、市内の福祉活動のさらなる促進を図っています。

第5 自治会

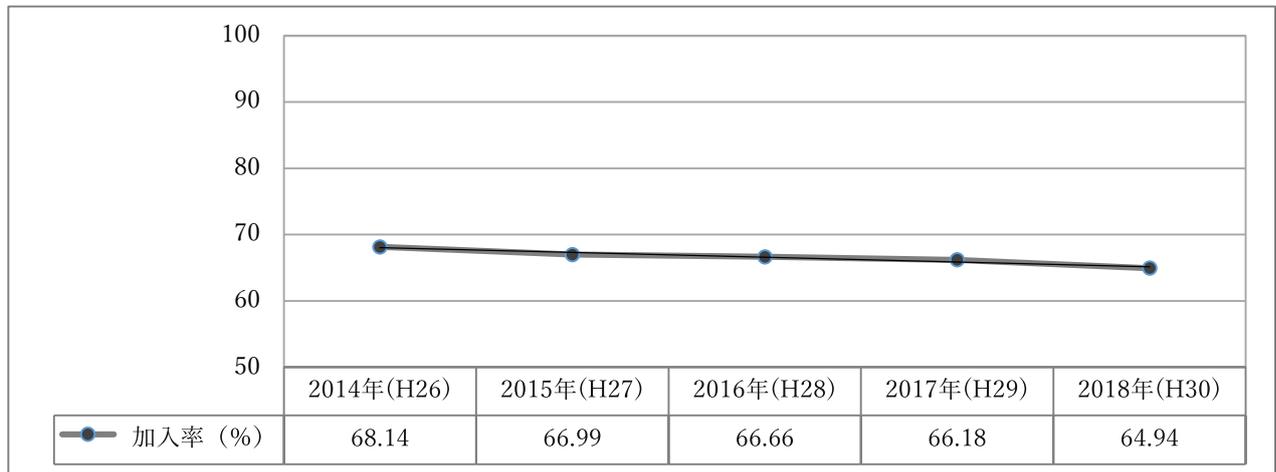
本市では、自治会活動や市民活動が活発に行われていますが、近年における人口の減少や市民意識の変化などにより、自治会の加入率は年々低下傾向にあります。

2018年（平成30年）では、64.94%となっています。これは、市民の生活様式の変化や住環境の変化などにより、近所との付き合いが希薄になり、地域への帰属意識が低下しているからと考えられます。

しかし、自治会が中心となって、身近な地域の支え合い活動や災害時における※避難行動要支援者情報の把握・収集など地域の様々な生活課題に取り組んでいます。

$$\left(\frac{\text{自治会加入世帯数}}{\text{住民基本台帳世帯数}} \right)$$

自治会加入率の推移（各年4月1日現在）



〈資料〉伊達市総務部

第6 ボランティア・NPO

本市のボランティア活動状況については、伊達市社会福祉協議会調べによるボランティア団体を見てみると、2015年度（平成27年度）から登録方法変更し、年度更新としたため差異が生じています。2017年度（平成29年度）以降は、ほぼ横ばいとなっています。

※NPO法人登録数は、全道的に増加の一途をたどっており、本市においても微増傾向にあります。

本市のボランティア登録団体数

（団体）

	2014年度 （平成26）	2015年度 （平成27）	2016年度 （平成28）	2017年度 （平成29）	2018年度 （平成30）
団体数	40	23	28	38	34

〈資料〉伊達市社会福祉協議会

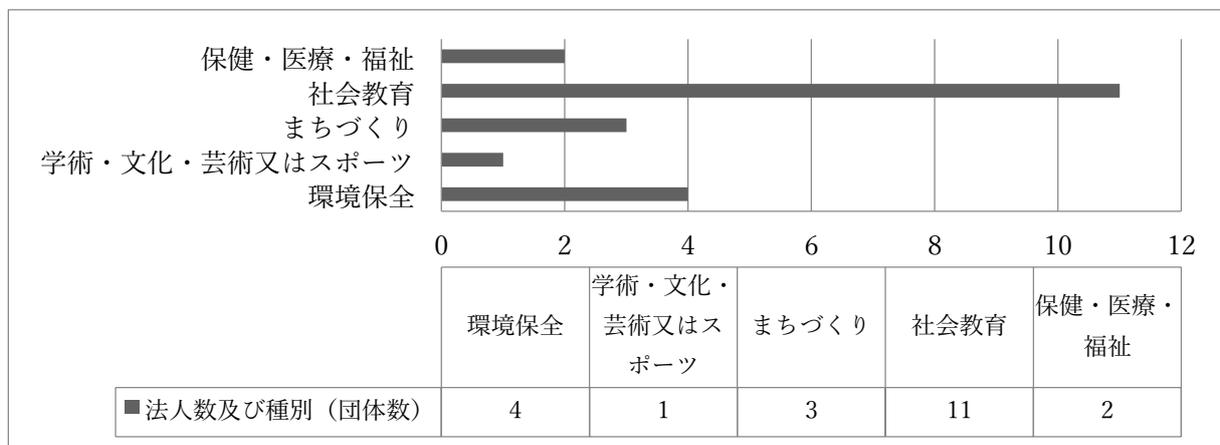
道内・本市のNPO法人数

（団体）

	2014年度 （平成26）	2015年度 （平成27）	2016年度 （平成28）	2017年度 （平成29）	2018年度 （平成30）
北海道内	1,794	1,890	1,998	2,076	2,165
伊達市内	16	17	18	20	21

〈資料〉北海道環境生活部、伊達市総務部

本市のNPO法人の数及び種別（2018年3月31日現在）



〈資料〉伊達市総務部